

日本とタイとどちらを選ぶ？バンコクの医療機関のかかり方

Bumrungrad International Hospital (タイ)

医師 百武加恵

「最近なんとなく調子が悪いんだよな。身体はだるいし時々胃のあたりが痛いし。心配だから大きな病院で調べてもらいたいけど日本まで帰った方がいいかなあ、それともこの辺の病院で大丈夫かなあ」そんなことを考えたことがあるミャンマー在住の皆様！バンコクで医療を受けるという選択肢も悪くないですよ。

タイの現国王の父親はアメリカで研修を受けた医師、母親は看護師ということもあって、タイは昔から医療に力を入れており、日本人が問題なく受診できる環境が整っています。ヤンゴンから飛行機で1時間ちょっと、日帰りも可能な所にある医療機関をうまく使いこなせると非常に便利です。ここではミャンマー在住の日本人が日本とタイとで医療機関を選ぶ時に役立つ情報について書かせていただきます。

日本人がタイで病院を受診する場合は、設備が揃っていて英語か日本語が通じる私立病院へ行くことがほとんどですので、以後「タイの病院」と書く時は日本人がよく行くバンコクの私立病院のことを書いています。タイの病院は24時間365日営業しています。体の調子が悪い時はいつでも受診出来ますし、入院拒否はほぼありません。付き添いや入院荷物も不要です。日本ですと手術やMRIなどの検査を受けるのにも順番待ちで時間がかかることが多いですが、タイでは数日以内です。ただし保険がないと結構高いですし、保険がない場合は最初にデポジットを払うように言われ、現金がない場合は受診できないということもあります。ただ高いと言っても欧米よりは安く、日本で保険を使わずに受診した場合と近い費用になります。

病院スタッフについて言えばタイの病院には欧米や日本等で研修を受けた医師が多く、レベルは高いです。ただ医師間の技量の差は日本より大きいと思いますので、医師を選ぶことは肝要です。どの医師を選ぶかはインターネットを見るよりも現場の通訳や医療コーディネーター等に直接（電話でも）聞くとだいたい教えてくれます。病院スタッフは概して優しく、患者として行くとほっとなごむことが多いようです。これはスタッフの数が多くて余裕があるのとタイ人の国民性によるものと思われます。ただし感じがいいからといって日本と同じように全て任せていると、忘れられたり既に理解しているものとみなされたりすることがよくありますので、何かあった場合は自分からどんどん質問する必要があります。例えば以前、病院の外来を受診して5時間待たされた挙句に怒って帰ってしまった日本人の方がおられました。受付をしたはずがコンピューター上になぜか登録されていなかったそうです。そんなに広大な外来でもないのだから長く待っている人がいたらスタッフも気がついて良さそうなものですが、気づかない（気づこうとしないといいますか・・・）、日本人も文句を言えばいいのに黙って待ってしまう。こうなると残念ですね。

タイでは通訳の人数が多いのも特徴です。どんなに英語が達者な人でも自分の具合が悪い時は日本語で話したいものです。例えばシンガポールでは英語が出来て当然みたいなスタンスがあるように思いますが、タイですと日本語で専門医も受診できる場所がいい所です。

病院の設備は整っています。CT や MRI、PET など新しいものが揃っています。薬剤は認可が早いので全体的には日本より多いくらいです。日本で国民健康保険を使って治療を受ける場合は診断名によって使える薬と期間に制限がありますが、海外旅行保険を使う場合はそれがありませんので、もっと良い治療を選べる場合があります。ただし海外旅行保険は持病に使えないということや慢性疾患は 180 日以内等の制限があります。

それからタイは輸血の安全性が高いという点も良いところです。仏教国のタイでは献血＝タンプン（徳を積む行為）と考えられており、輸血用の血液は 100%献血からまかなわれています。一方、発展途上国での輸血は売血（血を売って金に換える）に頼っているところがほとんどです。売血を輸血に使っていると、前もって検査をしたとしても肝炎などの感染症にかかる確率がどうしても高くなります。輸血の安全性が高くないと安心して手術が受けられません。

このようにタイで医療行為を受けるのはほぼ問題ないのですが、それでも言葉の問題は残ります。通訳だって最初から最後までつきっきりというわけではありませんし、第 3 者を介すると完全に自分の言いたいことが伝わっていないのではないかと心配が常につきまといまします。その上日本とは治療方針が異なることがあり、インターネットで日本語だけの情報を集めると不安になります。大きな病気の時には励ましてくれる家族や友人の存在も大きいです。更に医療というものはどこで受けたとしても 100%結果が保障できるものではなく、結果が期待通りではなかった場合、日本人なら誰も「あの時日本に帰っていれば」と思うものです。ですので日本へ行くかタイへ行くかで特に大きな病気の時に迷った場合、日本へ帰った方がいいということになります。それ以外、例えば家族がこちらにいますので近くで早く治療したい、まず検査をしてどういう状態か知りたい、外傷などで早急に治療する必要がある、日本まで長時間飛行機に乗るのは危険がある等の場合はタイに来られるのが良いと思います。妊娠・出産も問題ありません。しかも小児科、麻酔科と専門医のチームの対応が可能ですし、産後も贅沢な入院部屋で過ごせるので、日本での出産よりも遥かに快適かもしれません。

最後にバムルンラード病院の紹介をさせていただきます。バンコクの中心部にある 583 床の私立総合病院で、2002 年にアジアで初めて JCI（米国の国際的医療評価機構）の認定を受けた病院です。5 つ星ホテルのような綺麗な概観をしており、世界各国からの医療ツーリズムを受け入れています。特徴としては専門性が高いこと、医療コーディネーション部があつて外国人の患者さんがスムーズに治療を受けられるようにサポートしていることです。コーディネーション部には日本人スタッフも常駐しており、当院での治療に関する問い合わせや医師紹介、日本の病院との連携等も行っております。通訳は 19 人、日本人スタッフは 11 人、日本の看護師資格を持つものが 3 人います。私は以前は日本の病院で働いていたのですが、タイの医師免許を 5 年前に取得して以来、ここの内科外来と健康診断センターで診療させていただいております。「内科ではないけどまずは日本人の医師に診てもらいたい」という方々も多く来られます。どうぞ何かありましたらお気軽にご相談下さい。

バムルンラード・インターナショナル

電話：+66(0)2-667-1501（日本語）FAX:+66(0)2-667-2734 e-mail: infojapan@bumrungrad.com